

別表1 BSIJ-CPDシステムの分類と単位(2012年3月31日まで適用)

形態		内容	入力する時間数	換算単位数	年間上限単位	自己申請	備考	
参加学習型	1.特別認定講習会	1-1	特別認定講習等	特別に認定した講習・研修の受講	受講時間	3単位/時間	×	
			特別総合講習	建築積算資格者認定事業に定める「更新講習」の受講	4時間	更新講習1回で60単位を付与する	×	建築積算資格者の資格更新のための必須プログラム
	2.講習会	1-2	一般講習等	協会主催の講習会、研修会の受講 *他団体との共催を含む	受講時間	1単位/時間	×	「特別総合講習」及び「特別認定講習等」以外の講習会・研修会
				協会主催の長期型研修の受講(通学)	受講時間	1単位/時間	×	
				外部プログラムによる講習・研修の受講	受講時間	1単位/時間	○×	
		講演会・シンポジウム	講演会・シンポジウムへの参加	受講時間	1単位/時間	○		
			大学等の公開講座の受講	受講時間	1単位/時間	○		
	その他	全国大会等	5時間	全国大会 5時間×2 10単位	○×	他団体主催も含む。		
	3.見学会	1-3	見学会	現場見学会への参加	見学時間	1単位/時間 ※実質見学時間のみ	○×	他団体主催も含む。
				海外視察	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外	○×	他団体主催も含む。
		海外調査等	協会派遣の海外調査	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外	×		
			協会派遣の国際会議への参加	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外	×		
			官公庁依頼の海外調査、国際会議等参加	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外	○×		
	他団体依頼の海外調査、国際会議等参加	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外	○×				
4.e-ラーニング	1-4	e-ラーニング講座	協会主催のe-ラーニング講座の受講	※1	1単位/時間(パッケージ単位で申請)	×	※1 講座毎にパッケージ化し、入力する時間数(取得単位)を定める。繰返しの視聴(再確認)が可能のため、実際の講義時間とは異なることがある。	
情報提供型	1.講師	2-1	講師	講習会、研修会等の講師	担当時間	2単位/時間	○×	
				講演会・シンポジウム等の講師、パネリスト等	担当時間	2単位/時間	○×	
				大学、専門学校等の講師	担当時間	2単位/時間	○	専任教職員等の立場での講師はCPD対象外とする。
		論文等発表	論文、調査研究報告等の発表	発表時間	2単位/時間	○		
2.社会貢献	2-2	社会貢献活動	専門知識・技術を生かした社会貢献	活動時間	2単位/時間 ※実質活動時間のみ	○	公共性のあるものに限る(例=災害支援、建設工事紛争審査会への協力、調停委員、鑑定人、その他ボランティア活動)	
技術協力型	執筆活動	専門誌原稿執筆	2時間/頁	2単位/頁		○		
		学術論文執筆	2時間/頁	2単位/頁		○		
	委員会活動	協会本・支部役員会、委員会等の活動	2時間/回	1単位/回	17単位	○	対応の違いから自己申請とする。	
		他団体委員会活動	2時間/回	1単位/回		○		
		協会本部総会・支部総会	2時間/回	5単位/回		○		
論文等審査・査読	論文等の審査・査読	2時間/件	1単位/件	10単位	○			
その他								
自己学習型	専門雑誌購読	協会会誌「建築と積算」の購読	24時間/年	12単位/年間(24時間/年間)	12単位	○	年度末(3月)の一括申請とする。但し、年間4号発行されるので途中入会者は該当号のみとする。(6時間/1号当り)	
		協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習	1時間/記事	1単位/CPD認定記事(1単位/1時間)	12単位	○	各CPD認定記事ごとに申請する。	
		その他団体等の会誌・機関紙及び市販の専門雑誌等の購読	上限12時間/年	6単位/年間(1単位/2時間)	6単位	○	年度末(3月)の一括申請とする。年間を通し主たる内容を申請する。	
	専門図書による勉学	専門図書による自己研修	上限20時間/年	2単位/冊(2単位/2時間)	20単位	○	専門書毎にその都度申請する。	
e-ラーニング講座	他団体主催のe-ラーニング講座の受講	受講時間	1単位/時間	20単位	○	講座毎にその都度申請する。		
実務実績型	業務実績	建築生産過程における積算、コスト管理にかかわる業務実績	上限20時間/年	1単位/1時間	20単位	○	年度末(3月)の一括申請とする。年間を通し主たる業務を申請する。	
	技術実績	技術開発、技術活用、調査研究等による技術実績				○		
	その他							

※ 年間上限単位については、その年度の開始日(4月1日)から年度末(翌年3月31日)におけるものとする。

※ 自己申請における受講時間・見学時間・担当時間等の入力時間は日時ごとに申請する。

※ 上記の換算単位数を適用し難い事由があるときは、CPD評議会の議を経て異なる単位の換算をすることができる。

自己申請欄の○×について:
 ×印: 自己申請不要: 協会主催で協会が事前認定したプログラム及び外部プログラムを協会が事前認定したもの。受講確認は行う。(CPD情報システム「認定プログラム一覧」を参照)
 ○印: 自己申請必要: 上記×印の説明に該当しないプログラム。(技術協力型・自己学習型・実務実績型に該当するプログラムは全て自己申請の要あり)